



働き方改革、そうだ、自分磨こう

澤口 久美さん（岡崎店）

気が付けば、今の会社に就職して、30年以上の月日が流れた。

結婚、出産、育児、人並みの人生を送りつつ、仕事と家庭の両立を生きがいにしてきた。

男女雇用均等法、育児休暇の制定、女性活躍推進法、30年の間に女性の環境は随分働き

やすく変化したが、その中で、職場の中で正統に向き合おうとした女性達は見えない苦難

を乗り越える必要があった。  
子供たちを保育園に送り届けてからの出勤

のため、朝食は家事をしながらパンをかじった。

他の人と対等に仕事をこなすため、昼食もおにぎり持参でPCに向かっていた。

3時のおやつが仕事のモチベーションだった。

夕飯は子供たちを寝かしつけた後、ごほうびの風呂上がりビールの本数が増えること

も多々あった。子供たちが大きくなると、お弁当作りや学習塾の送迎、男性には遅れながら与えられた昇格のチャンスのため試験勉強も、夜食を食べながら深夜まで頑張った。とにかく、猪突猛進で、女性活躍のロールモデルとなるべく突っ走ってきた。ところが、50過ぎた途端に、残りの会社人生の選択と、がむしゃらを否定する働き方改革に向き合わされる。会社帰りに立ち寄ったスーパーの鏡に映った中年太りのおばさんとふと目が合った。二重あご、出っ張ったお腹、それを隠すためのゆったりした服、これが私。。。。もう、いいかな。自分磨こう。会社にも家族にも十分尽くした。今の若い女性従業員は、ワークライフバランスを保って、ほどほどに頑張っている。まだまだ、エネルギーは残っている。会社帰りに自分磨こう。

